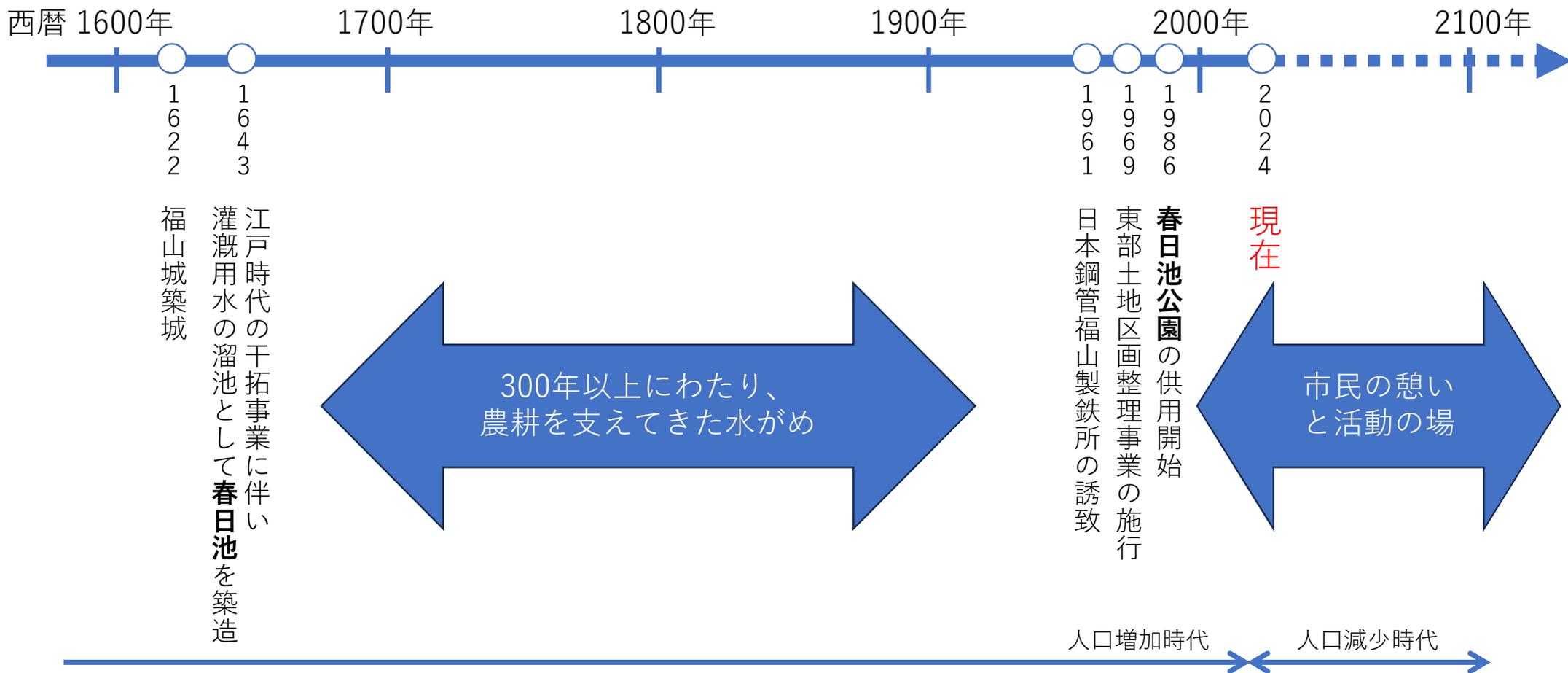


過去と現在を知り、
未来を想像する。

春日池公園の未来を考えることは
春日池公園の過去を知ることから始まる

春日池と春日池公園の歴史



穴の海と 江戸時代の干拓

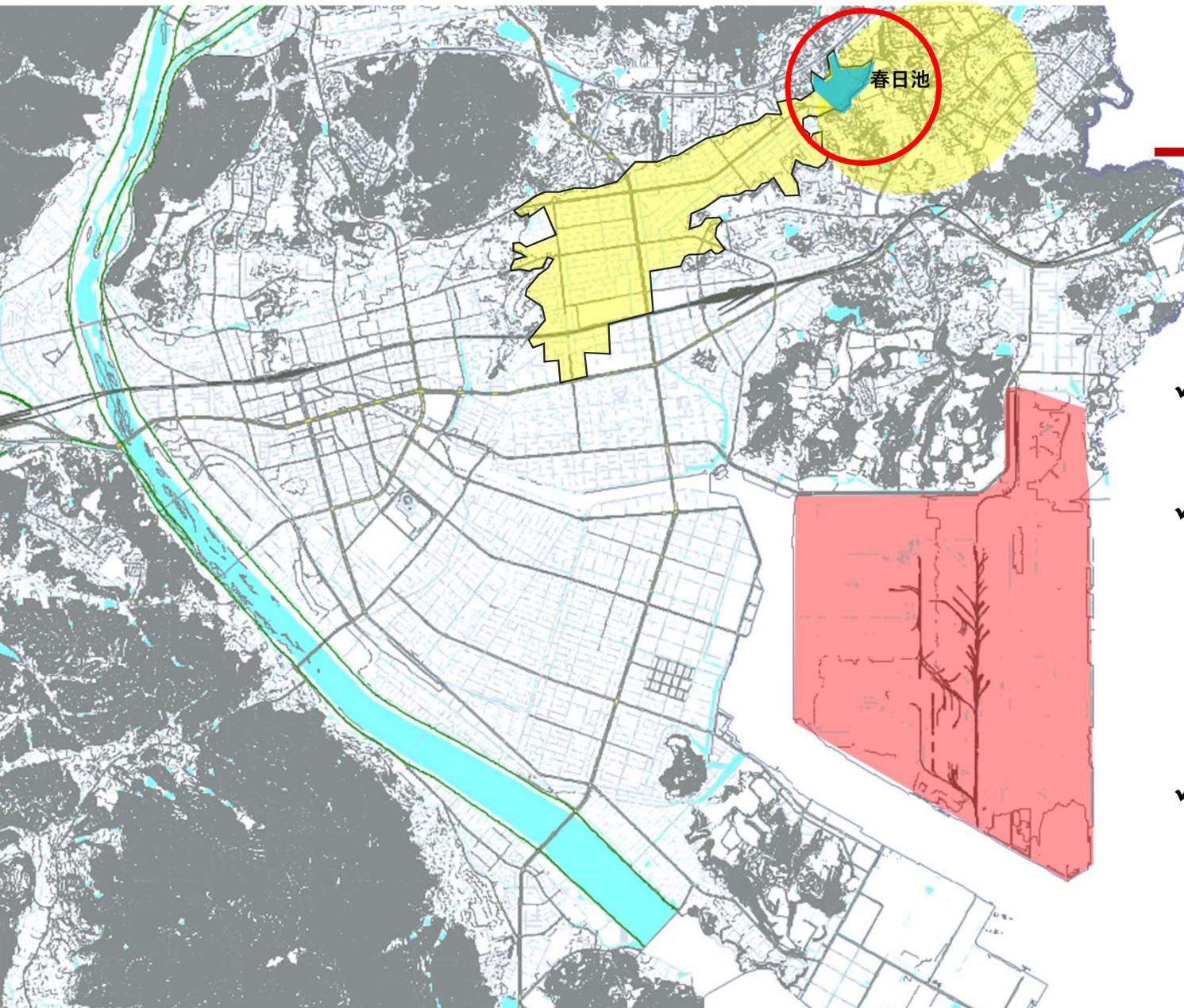
- ✓ 古来、福山は「穴の海」と呼ばれ、春日池の辺りまで海が入り込んでいた。
- ✓ 江戸時代初期、初代福山藩主水野勝成により大規模な干拓事業（新涯開発）が行われる。
- ✓ 春日池は灌漑用水を確保する溜め池として整備。備後3大池のひとつに数えられる。
（他に服部大池、瀬戸池）
- ✓ 干拓地では綿花の栽培を奨励
- ✓ 江戸時代後期には日本3大絁の一つ「備後絁」が生まれる
- ✓ 後にデニムの産地として発展する礎となる。



日本鋼管福山製鉄所の誘致

大規模な宅地造成事業

- ✓ 日本鋼管福山製鉄所（現JFEスチール）の進出。
 - ✓ 急激な人口増加に対応するため市施行の土地区画整理事業や民間の宅地造成事業が行われる
- ▼
- ✓ 市東部地域の総合公園として春日池公園が計画される。



日本鋼管福山製鉄所の誘致



大規模な宅地造成事業



春日池公園基本計画 (1982年)

春日池公園基本計画

1982年10月

春日池公園基本計画 (1982年)

基本構想

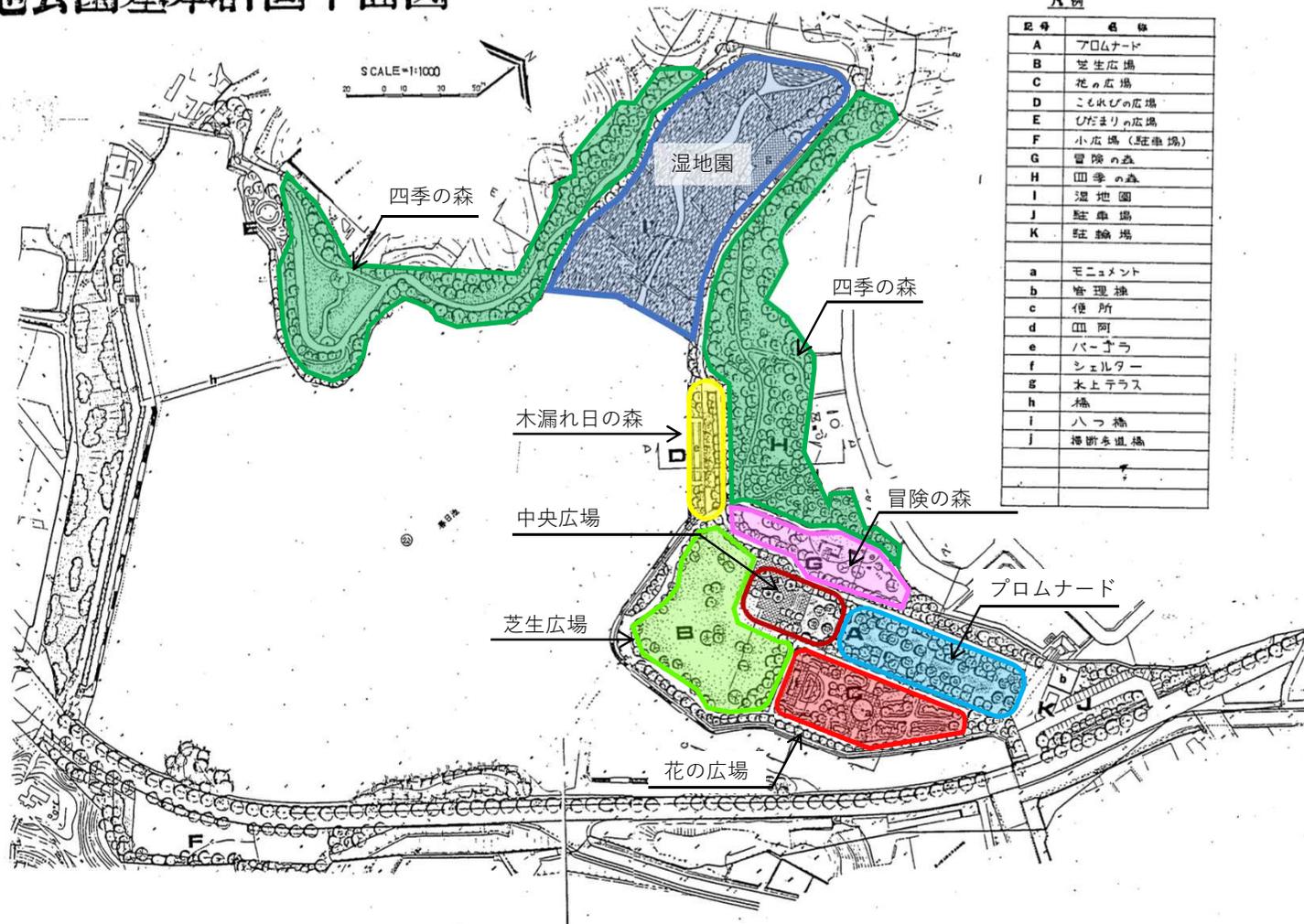
- ✓ 水面を有する特色を最大限に活かし、水を取り入れた修景施設を導入する。
- ✓ 身体障がい者も周遊できるよう、園路は8%以下の勾配とする。
- ✓ 目の不自由な人のために、香りを有する樹木を植栽する。
- ✓ 四季を通じて楽しめるよう、それぞれの季節の自然の営みを伝える森を造成する。
- ✓ 景観を高めるため、要所に展望台を設置する。
- ✓ 中央広場は集いの場として活用できるよう、広いスペースを確保する。

基本方針

- ✓ 総合公園として、運動、休養、遊戯、教養等、多様な活動が行えるようにする。
- ✓ 住宅地の中にある貴重な自然的風致の存在を公園の利用にも活かす。
- ✓ 大人から子供まで全市民が利用できるよう配慮する。

春日池公園基本計画 (1982年)

春日池公園基本計画平面図



春日池公園基本計画 (1982年)

ゾーニング

- ✓ 入り口周辺には園内の案内や管理のための管理棟を設置する。
- ✓ プロムナード、花の広場、芝生広場、冒険の森、木漏れ日の広場、湿地園を設け、利用者の散策、休養、鑑賞、軽スポーツ、遊戯等の場所とする。

1) プロムナード

広場的性格を持たせ、ベンチや彫刻等を置き屋外美術館のイメージを再現する。

2) 花の広場

福山市第2のばら公園。ばらを主体とした明るく華やかな西洋風の広場とする。

3) 芝生広場

静的な公園の中にあって、最も一般的な利用が期待できるエリアとする。
巨木と芝生の拡がりにより、周囲を緑で囲みつつも、明るいイメージとする。

春日池公園基本計画 (1982年)



プロムナード



花の広場



芝生広場

春日池公園基本計画 (1982年)

ゾーニング

4) 中央広場

プロムナードの終点としての完結性と、芝生広場との結節点としての機能を満足させるため、モニュメント（塔）を配置し、両者を調和させる。

5) 木漏れ日の広場

池を見渡せるよう、園路に沿ってパーゴラを設置。池を望む景観を考慮し、園路よりレベル（高さ）を1m下げる。

6) 四季の森

緩やかな法面に花木、落葉樹、低木を植栽するとともに、展望台を設け、休憩のためのスペースとする。

春日池公園基本計画 (1982年)



中央広場



木漏れ日の広場



四季の森

春日池公園基本計画 (1982年)

ゾーニング

7) 冒険の森

隣接地の児童公園と合わせて利用することを可能とする。木製遊具を設置し、異なる遊びができるようにする。遊具は安全性を考慮して砂場の上に設ける。

8) 湿地園

池の奥まった場所を埋め立てて湿地園を設置する。園内には花菖蒲を主体に、アヤメ、カキツバタ、イチハツ、ジャーマンアイリス等を植える。園内の散策を楽しめるよう、八ツ橋（木製の幅の狭い橋板）を設置する。

9) 教養施設

スペースに限りがあるため配置しないが、樹木ラベルを多くつけることにより、公園全体を樹木見本園とする。

春日池公園基本計画 (1982年)



太陽の滴（しずく）

制作：杭谷一東（環境彫刻家）



- 1942年 広島県世羅町に生まれる。
- 1962年 当時最年少で日展に入選。以後8年連続入選。
- 1971年 イタリア国立アカデミー卒業時に最優秀ミネルヴァ賞を受賞。
- 1990年 ローマ法王ヨハネ・パウロ二世に謁見。
- 2005年 イタリアのMAA（マール・アーキテクチュアル・アワード）大賞を受賞。
- 「太陽の滴」は、造形と人間がひとつに溶け込む語らいの場になることを期待して造られた。

（杭谷一東HP参照）

太陽の滴
 太陽の滴を起し
 マグマを起し
 小舟の帆が空を切る
 せせらぎの内に子供達は
 風に回り
 よとみでは親達が
 かたうう
 びあいの二人は
 大地の精粹を吸いあげ
 天にむかっえがる
 太陽の滴は
 まばしく白く白く
 微笑む
 一東



主な作品

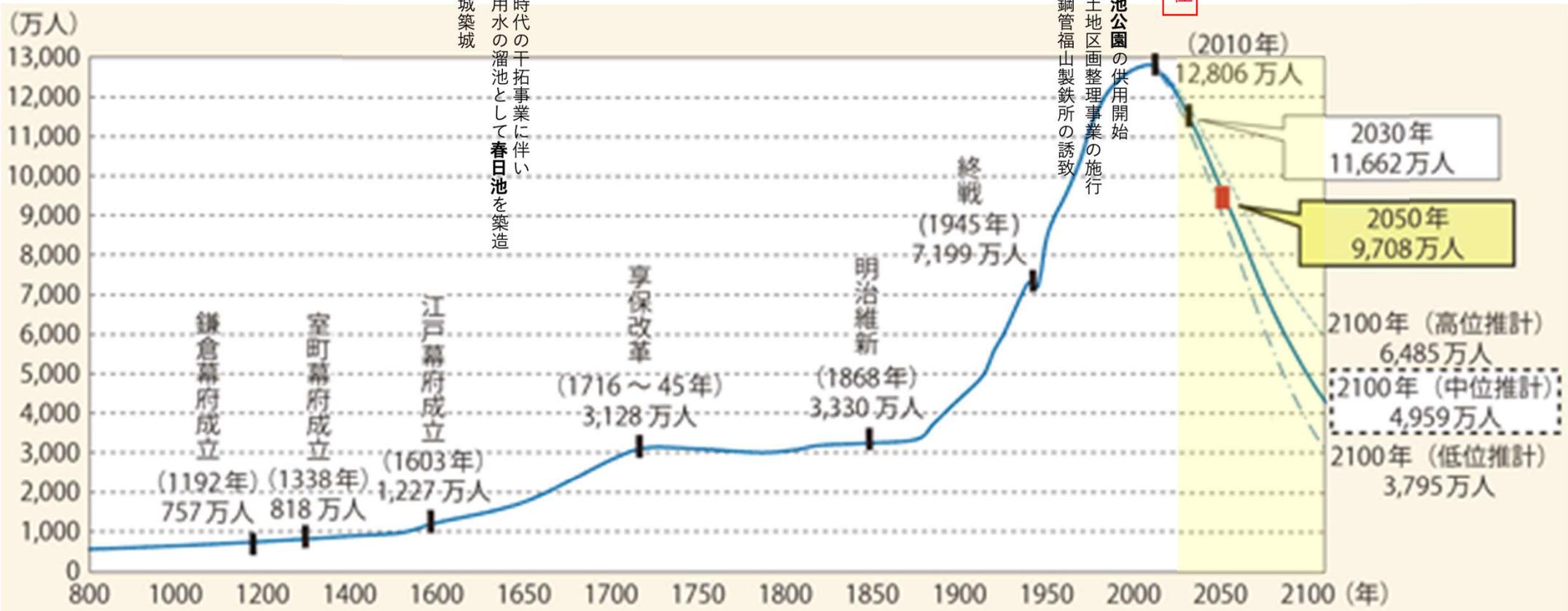
- 耕三寺博物館「未来心の丘」
(尾道市瀬戸田町)
- 道の駅世羅「天地花」
(世羅町川尻)
- ローズコム「太陽の門」
(福山市霞町)
- 福山城噴水広場「水の城」
(福山市丸之内)
- ふくやま美術館「敬意」
- 北部市民センター「共生」
(福山市駅家町)

杭谷一東モニュメントマップ

杭谷一東の作品群はただ鑑賞するだけではなく、触れて、遊んで自然の力を感じる事が目的です。県内40数ヶ所をはじめイタリアや他県にも展開する杭谷芸術の真髄に触れて欲しいと願っています。



人口減少局面を迎える転換期



資料) 2010年以前は総務省「国勢調査」、同「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」より国土交通省作成

近未来を予測する

●春日池公園近隣の人口予測 (人・%)

小学校区	2050年推計人口	増減割合
春日	6,932	-17.6
日吉台	5,407	-21.4
伊勢丘	5,385	-15.5
坪生	7,649	-24.9
幕山	6,404	6.0
大谷台	2,375	-28.4
緑丘	16,769	13.8
福山市全体	383,669	-16.8

増減割合は2020年9月時点から2050年推計人口の増減割合

●年齢別人口割合(2023年3月末)

「オールドタウン化」に伴う高齢化が顕著に見られる。今後、地域コミュニティの希薄化や空き家問題などが地域課題となる…？

